

1/13～韓国の高校生30名来日

イ ス ヒョン 李 秀 賢 氏 記 念 韓 国 青 少 年 訪 日 研 修

13 年前、新大久保駅で亡くなった李秀賢氏の遺志をついで

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）関西国際センターでは、李秀賢（イ・スヒョン）氏の意志を継いで、将来日韓の架け橋を目指す高校生30人を招へいます。

2001 年に JR 新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして尊い命を落とした、韓国人留学生の李秀賢氏。このプログラムは、同氏の足跡をたどり、JR 新大久保駅や生前に通っていた赤門会日本語学校を訪問すると共に、同世代の日本人との交流（大阪府立佐野高等学校）を行い、日本の社会と文化への理解を深めます。また、立命館大学国際関係学部（京都府）の日本人学生及び韓国人留学生との交流会及び駐大阪韓国文化院訪問を通じて、将来の日韓関係を考える機会を提供します。



JR 新大久保駅で追悼・献花を終えて



赤門会日本語学校訪問後

●期間：2014 年 1 月 13 日～1 月 25 日の 13 日間

※1 月 13 日～15 日は東京滞在

- ・ JR 新大久保駅での追悼・献花（13 日 16：30 予定）
- ・ 赤門会日本語学校訪問（14 日）
- ・ 駐大阪韓国文化院訪問（18 日）
- ・ 立命館大学国際関係学部訪問（21 日）ほか

●協力機関：学校法人新井学園 赤門会日本語学校、駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院、立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校、エルエスエイチアジア奨学会

昨年の本研修の東京訪問（JR 新大久保駅及び赤門会日本語学校訪問）

<http://www.jfkc.jp/ja/news/2013/01/30.html>

お問い合わせ | 国際交流基金関西国際センター

担当：日本語事業運営部教育事業チーム 申(しん) 電話：072-490-2601

国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

www.jpj.go.jp